

東日本大震災の薄れる記憶と 身近な自然災害に備える

稲越自治会 会長 服部英信

悪い夢でも見ているような非日常に直面して、言葉にできない惨状を目撃した時など、人はそれぞれに人生観を変えと言われる。

東日本大震災の1年前に福島県沖で発生した地震の4日後に、福島第1原発2号機で電源喪失事件が起きたが、南アフリカ「サッカーワールドカップ」一色で原発事故はあまり報道されなかった。

あくる年、2011年3月11日午後2時46分、東日本大震災が発生し巨大津波によって福島第1原発はメルトダウン（炉心溶融）を引き起こした。

地震発生から1か月後、原子力委員会が福島第1原発事故について事故発生から1時間あたり最大1万テラベクレルの放射性物質を放出していたとの見解を示した。これはチェルノービリ原発事故と同じ危険なレベルであることを認めたのである。

東日本大震災は太平洋プレートが北アメリカプレートに沈み込む海溝型の地震で、震源域は三陸沖から茨城県沖までの約500キロ、幅200キロが最大30メートルずれて、6～8メートル跳ね上がって阪神淡路大震災の1450倍の巨大地震を引き起こしたと考えられる。平安時代の貞観地震（869年）以来、まさしく1000年に1度の大地震と言わざるを得ない。

市川市は自然災害の非常に少ない恵まれた環境にあるが、異常気象による台風の発生やダウンバースト（竜巻）さらに連続する線状降水帯の甚大な被害がどこで起こるか想像すらできない。南海トラフ地震の予測や富士山噴火など、想像をはるかに超える自然災害にいかに対処するかは、自分自身の生き方にも大きく関わってくると思われます。命の尊さや地域との繋がりをもう一度考えてみませんか？



第487号
稲越自治会

広報部
部長：田中智



いつまでもお元気で！

「敬老の日」75歳以上の方 325人(259世帯)にお祝い品をお届けしました



「高齢者に優しい社会を」長年にわたり人生を重ねてきた方々に心からお祝い申し上げます。

「敬老の日」7月14日、稲越自治会では今年も75歳以上の会員の方325人に「いつまでもお元気で」と声をかけながらお祝い品をお届けしました。自治会独自でこうした取り組みをしているところは少なく、今後とも続けてまいります。

福利厚生部 伊藤政行

子どもが主役 ☆ 稲越秋祭り2025

稲越子ども会育成会 服部英信

今年も稲越秋祭りは10月11日（土）宵宮（前夜祭）、12日（日）本祭りが盛大に開催されます。厳島神社の境内をお借りして、宮出しから宮入まで厳島神社のお祓いを受けた「子ども神輿」が稲越町内を練り歩きます。

宵宮（前夜祭）は夜店も出店し子ども達と楽しく過ごしなが、ご協力いただいているご来賓や地域の皆様とのふれあいの場となります。

新しい子ども神輿も4年になりますが、できれば子ども達と一緒に秋祭りを盛り上げる大勢の保護者の参加をお願いしたいと思います。子ども達に夢と希望と感動を与えることができるのは大人の心がけひとつです。

稲越秋祭りを皆さんの温かい心と若い人の力で支えていけたら、こんな素晴らしい事はないと思います。

